

科目名 周手術期看護援助論	配当時期 2年次 後期	講義担当者	
時間割表記名 周手術期看護援助論	単位数 1単位	濱崎友実	
	時間数 30時間(16回)	後藤円 梅田裕子	
事前学習内容			
<p>疾病論・治療論で学習した手術侵襲・麻酔侵襲とその生体反応について復習しておく。</p> <p>事例で用いる疾患の病態・治療については復習して臨む。</p>			
授業目標			
<p>1. 周手術期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。</p> <p>2. 術後合併症の予防について、また必要な看護を理解できる。</p> <p>3. 事例を通して周手術期にある対象の看護過程の展開を学ぶ。</p>			
DPとの関連			
<p>DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。</p> <p>DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。</p>			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	<p>手術を受ける患者の特徴</p> <p>1. 周術期とは 2. チーム医療と看護師の役割</p> <p>3. インフォームドコンセントにおける看護師の役割</p> <p>4. 周手術期における危機管理</p> <p>5. クリティカルパス</p> <p>手術前患者の看護</p> <p>1. 術前患者の特徴</p> <p>2. 精神的・身体的準備</p>	<p>講義</p> <p>グループワーク</p>	テキスト①
2	<p>手術中患者の看護</p> <p>1. 入室時の看護 2. 麻酔導入時の看護</p>	講義	テキスト①
3	<p>3. 術直後の看護 4. 手術室の環境管理</p> <p>5. 手術室における安全管理</p>		
4	<p>手術後患者の看護</p> <p>1. 手術後患者のアセスメントに必要な知識</p>	グループワーク	テキスト①
5	<p>1) 手術侵襲と生体反応、2) 創傷治癒過程</p>	発表	
6	<p>2. 術後合併症の発生機序と予防</p> <p>3. 手術後回復を促進する看護</p>		
7	<p>手術を受ける患者の看護(老年期)</p> <p>【事例展開】</p>	<p>講義</p> <p>演習</p>	<p>テキスト①②④</p> <p>⑤</p>
8	<p>1. 胃がん 胃全摘術手術を受ける患者の看護(老年期)</p> <p>1) 情報の収集と整理(周手術期に必要な情報収集)</p> <p>2) 事例のアセスメント①(麻酔・手術の侵襲と生体反応)</p>		

9	3)事例のアセスメント②(手術を受ける老年期のアセスメント)	講義 演習	テキスト①②④ ⑤ *11回目 45分
10	2. 看護診断と看護目標		
11	3. 援助計画の立案		
12	女性生殖器手術を受ける患者の看護:子宮癌、卵巣がん、乳癌 1. 妊孕性温存療法と意思決定支援	講義	テキスト③
13	2. 手術後の観察・アセスメント 3. 身体の回復促進と合併症予防		
	4. 手術後の障害に対する援助 1)不安 2)排尿・排便障害 3)機能障害 4)リンパ浮腫		
14	5. 臓器喪失感の受容への援助 6. 本人・家族への退院指導・社会復帰支援		
15	周手術期における婦人科外来の看護 1. 発達段階に応じた看護 2. 内性器の診察・検査に対する援助 3. 術前検査、術前説明 4. 外来での継続治療:ホルモン療法、内服治療 5. パートナーへの支援 6. がん検診の定期フォロー		
16	試験(試験 45分)	試験(筆記)	
受講上の注意 ○事例展開では、レポート評価とする。			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ①系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院 ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学9 女性生殖器 医学書院 ④系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 ⑤系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 参考文献			